１　指導者　向井　さゆり

変更版

２　単元名　ことわざと故事成語

３　本単元で身に付けたい資質・能力

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 本単元で目指すレベル | **１** | **２** | **３** |
| ① | 知識及び技能 |  |  | ○ |
| ② | 思考力，判断力，表現力 |  | ○ |  |
| ③ | 共感的な人間関係 | ○ |  |  |
| ④ | チャレンジ精神 |  | ○ |  |

４　単元設定

（１）単元概要

本単元は，学習指導要領解説「国語科の目標及び内容（３）我が国の言語文化に関する事

項」に準ずるものである。

イ　長い間使われてきたことわざや慣用句，故事成語などの意味を知り，使うこと。

　本単元は，長い間使われてきたことわざや故事成語の意味を知り，それを身近な生活場面

に当てはめて，使用する場面を設定して短い文章で書き表すなどして，使うことができるよ

うになることをねらいとしている。

　ことわざや故事成語は，昔の人の生活経験や古くから伝わる書物などから生み出され，今

に伝えられてきた知恵や教訓，知識を含んだ言葉である。これらは，現代においても多くの

人々に使われ親しまれている。そこで，ことわざや故事成語の意味を調べ,自分の経験を重ね合わせて使い方を考えることで，実際の生活場面で使える力をつけていく。また，本単元は高学年での昔の人のものの見方，考え方を知って文章を書くという学習へと発展していく内容でもある。

（２）単元目標

　　〇長い間使われてきたことわざや故事成語などの意味を知り，使うことができる。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（知識・技能）

　　〇「書くこと」において，集めた材料を比較したり分類したりして，伝えたいことを明確にすることができる。　　　　　　　　　　　　　　　　　（思考・判断・表現）

〇ことわざや故事成語について，学習課題に沿って積極的に意味や使い方を理解し，使おうとしている。　　　　　　　　　　　　　　　（主体的に学習に取り組む態度）

（３）児童実態及び指導の手立て

　　本単元に対するアンケート調査（令和３年５月３１日）の結果は，以下の通りであった。

１　慣用句の学習が楽しかった　　　　　　　　　肯定的評価　　　７５％

２　もっと慣用句を知りたいと思った　　　　　　肯定的評価　　　８０％

３　既習の慣用句の意味を理解している　　　　　正答率　　　　　７５％

４　知っていることわざを１つ以上書いている　　　　　　　　　　３３％

５　知っている故事成語を１つ以上書いている　　　　　　　　　　　０％

　　本学級の児童は，アンケートの結果から，第３学年で学習した慣用句を「もっと知りたい」と意欲的な児童が多い一方，既習の慣用句の意味を理解していない児童もいる。知っていることわざや故事成語を答える質問では，ことわざを１つ以上答えられた児童は３３％，知っている故事成語を答えられた児童は一人もいなかった。「故事成語」という言葉を聞いたことがない児童がほぼ全員であった。

指導に当たっては，３年生に「ことわざ・故事成語ブックをプレゼントしよう」を単元のゴールとして設定し，児童が意欲をもって学習を積み重ねていけるようにする。

学習に入る前に教室へ「ことわざ辞典」や「故事成語辞典」，「いろはかるた」などを置いておき，児童の興味関心を高めておく。また，「ことわざ」や「故事成語」は語呂がよく言い方が簡潔でおもしろいので，この特徴を生かして，授業の導入で，みんなで声を合わせて音読し，より親しみをもたせるようにする。辞典などを使って「ことわざ」や「故事成語」集めをし，それぞれの意味を調べさせていく。次に，それらの言葉は，日常生活のどの場面で使うことができるのかを考え，短い文章で書き表していく。意味と考えた短い文章をクロームブックのジャムボードにまとめていき，「ことわざ・故事成語ブック」に仕上げていく。一人一人が作成したシートを学級全体で交流し，その後３年生にプレゼントする「ことわざ・故事成語ブック」に仕上げていく。同じものを教室にも置いて，いつでも手に取れるようにしておくことで，日常生活で「ことわざ」や「故事成語」が使えるようにしていく。

ICT活用においては，授業の導入時にPPで「ことわざ」や「故事成語」を提示し，音読させ，慣れ親しめるようにする。また，「ことわざ・故事成語ブック」作りでは，クロームブックのジャムボードに①ことわざ・故事成語②意味③使い方をまとめさせていく。一人一人が作ったシートを提示しながら，全体で交流する場を設定する。

（４）単元構想の工夫

　単元構想を「ことわざ・故事成語ブックを作ろう」とし，伝統的な言語文化に触れ，親しんだり，楽しんだりする中で，言語の豊かさに気づき，理解を深めていくことができると考えた。また，３年生にプレゼントすることを目的とすることで，相手意識をもって作成していくことができると考えた。

　総合的な学習の時間「クロームブックとなかよくなろう」との関連も図り，ジャムボードを使って毎時間学んだことをまとめさせ，交流することで，より理解を深めさせることができると考える。

（５）資質・能力とのかかわり

「思考力・判断力・表現力」に関して，「ことわざ」や「故事成語」の意味調べをして，どのような場面でその言葉が使えるかを考え，短い文章で書き表すことで，考えたことを言葉で伝える力を付けたい。

「共感的な人間関係」に関して，自分とは異なる言葉を選んでいたり，同じ言葉でも使い方が異なっていたりする場面において，互いの考えを尊重し合い新たな学びとして共感し合える人間関係を育てていきたい。

「チャレンジ精神」に関して，「ことわざ」や「故事成語」選びの際に，初めて出会う言葉を積極的に調べたり，言葉の使い方を複数考えたりするなど，課題に向かってどんどんチャレンジしょうとする力を付けたい。

５　単元計画（全５時間）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 小単元名 | 学習内容 | 本時のねらい | | | ・児童の「学び」の姿  （例）～している。  ☆ICTの活用 | 育成できる資質・能力 | | |
| 知 | 思 | 学 |  | ② | ③ | ④ |
| （総合的な学習の時間）  「ことわざや故事成語について知ろう」  （１） | ○単元計画を立て，見通しを持つ。  ○ことわざや故事成語について知る。 | ○ |  | ○ | ・生活の中で聞いたり使ったりしたことのあることわざや故事成語はないか考えている。  ・「ことわざ・故事成語ブック」を作成するというゴールを知り，学習意欲を持っている。  ☆ＰＰでことわざや故事成語を紹介する。 |  |  | ○ |
| （総合的な学習の時間）  「ことわざ・故事成語を集めて意味を調べよう」　　　　（１） | ○ことわざや故事成語を集めて，意味を調べる。 | ○ | ○ | 〇 | ・ことわざ・故事成語を集めて意味を調べている。  ☆クロームブックのジャムボードに調べた意味をまとめる。 | ○ | ○ | ○ |
| （総合的な学習の時間）  「ことわざや故事成語の使い方を考えよう」　　　（２） | ○ことわざや故事成語の使い方を考える。  （本時１／２） | ○ | ○ |  | ・ことわざや故事成語の使い方を考えて短い文を作っている。  ☆PPでことわざや故事成語を提示する。  ☆クロームブックのジャムボードにまとめる。 | ○ | ○ |  |
| 総合的な学習の時間）「作ったシートを発表しよう。」（１） | ○単元を通して作成してきた「ことわざ・故事成語ブック」を発表する。 | ○ | ○ |  | ・単元を通して作成した「ことわざ・故事成語ブック」のシートを使って発表を聞き合っている。  ☆クロームブックを提示しながら発表する。 | ○ | ○ |  |

１　学　年　第４学年　男子１１名　女子１３名　計２４名

２　本時の目標

ことわざの意味に合った場面を考えて，短い文章を書くことができる。

３　本時の「学び」を実行する振り返り確認問題　　と　　評価規準

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 選んだ「ことわざ」を使って，その意味に合う場面を考え，短い文章で書く。  ＊選んだことわざ使って書いた短い文を発表させる。 | A | ことわざの意味を理解し，それに合った経験や具体的な場面を想像し，分かりやすい文章で書いている。 |
| B | ことわざの意味を理解し，それに合った場面を短い文章で書いている。 |
| C | ことわざ辞典やヒントカードを基に文章を書いている。 |

４　板書計画

|  |
| --- |
| ６／⒖  単元のゴール：「ことわざ・故事成語ブック」を作ろう。  めあて    ことわざを使って分かりやすい文章を書いてみよう。  自分の宝物を伝える時は，「My treasure is～.」という表現を使う。  　　　　　　　　　　　　　　　　　意味にあっている  Ａの文章  　　　　　　　　　　　　　　　　　くわしい  　　　　　　　　　　　　　　　　　経験したこと  　　　　　　　　　　　　　　　　　実際にありそう    Ｂの文章  〇見直しのポイント  　①ことわざの意味に合っているか  　②経験したことや、見聞きしたことを基に  　③くわしく具体的に  　④人を傷つけないように  シートの使い方  まとめ  分かりやすい文章を書くためには、よりくわしく書いたり、経験したことを書いたりすると分かりやすくなる。 |

５　本時の展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習  展開 | 「学び」の過程 | ◇全体や個への手立て  ◆他教科等との関連  ☆ICTの活用 |
| ・児童の思考の深まり（具体） ○教師の問い（具体) |
| 課題設定・情報収集 | 問題場面  の設定  課題設定  解決の見通し | ○いろいろなことわざを音読する。  ○３年生にわかりやすい「ことわざ・故事成語ブック」にするためには意味だけでいいかな。  ・教科書には４コマ漫画があったな。  ・こんな時に使うよ，ということわざを紹介する文を入れたらどうだろう。  ○単元のゴールを確認し，本時のめあてを設定し，見通しを持たせる。    めあて  ことわざを使って，分かりやすい文章を書いてみよう。 | ☆ＰＰで次々提示しことわざに親しませる。  ◇前時までに作っているシートを提示し，読み手を意識した工夫を考えさせる。  ◇単元のゴールを確認し，本時での学びの目的を持たせ活動に取り組ませていく。 |
| 整理・分析 | 自力解決  集団思考  協働学習で「学び」を確かめる | ○選んだことわざとその意味，選んだ理由を確認しましょう。  ・自分も同じような経験があるので，このことわざを選びました。  ・言葉がおもしろかったので，３年生に教えてあげたいと思った  から選びました。  〇ことわざを使って，文章を書きましょう。  ・どんな時に使えることわざだろう。  〇書いた文章を交流しましょう。  〇２つの文章を読み比べて，どちらが分かりやすいですか。  【Ｂ】  ・友達がしたことがくわしく書いてあります。  ・実際にありそうな出来事が書いてあります。  ・自分も経験したことがあることが書いてあります。  ○見直しのポイントを確かめましょう。  ・ことわざの意味にあっているか。  ・具体的にくわしく書いているか。  ・経験したことや，見聞きしたことのある場面になっているか。  ・人を傷つける内容になっていないか。  ○見直しのポイントをもとに，書いた文章の見直しをしていきましょう。  ・場面をくわしくしよう。  ・経験したことを基に書いていこう。  ・意味に合った場面になっていないな。  ・  〇クロームブックの「ことわざシート」を作成しましょう。  ・考えた文章をクロームブックのジャムボードにまとめ，シートを作成する。  ○作成したシートを交流しましょう。  ・ジャムボードを見ながら，交流する。 | ◇国語辞典を一人一人持たせておく。  ◇ことわざ辞典を教室に置いておき，いつでも使えるようにしておく。  ◇意味調べカードを参考にしながら書くようにさせる。  ◇３人程度の児童に発表させる。  ◇教師が考えた２つの文章（具体的で生活経験を基にした文章とそうでない文章）を提示し，比較することで，書き方のポイントをおさえていく。  ☆ジャムボードに考えた文をまとめさせる。  ◇ローマ字入力の難しい児童には，ローマ字表を渡す。  ◆総合的な学習の時間「クロームブックとなかよくなろう」との関連を図る。 |
| まとめ | 「学び」のまとめ | ○本時のまとめをしましょう。  まとめ  分かりやすい文章にするためには，ことわざの意味が分かり，よりくわしく書いたり，経験したことを書いたりすると分かりやすい。 | ◇見直しのポイントを振り返り，まとめにつなげるようにさせる。 |
| 実行・振り返り | 「学び」の実行  「学び」の振り返り | ○本時の活動を振り返りましょう。  ・学びを自分の言葉で書く。  ○挨拶をする。 | ◇本時の学習でよかったところを認める。  ◇よりよい「ことわざ・故事成語ブック」にするために工夫することはないか投げかける。 |